

令和3年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

令和3年6月8日



発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合

広田湾で付着継続。全県ではわずか。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.7℃で、昨年度同時期と比較して約1℃低くなっています。透明度は7mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が45個/袋（採苗器7日間垂下）確認され、付着数は前回に引続き少数となりました（27個→45個/袋/週）。全県的に付着はわずかですが、広田湾泊においては、付着数が前回に引続き増加しました（133個→231個/袋/週）。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が83個/m³、200μm以上の大型個体が14個/m³確認され、大型個体数は前回に引続き少数となりました。

< 宮城県の状況（6月3日発行ホタテガイ採苗通報（第7報）） >
 週間の付着稚貝数が増加。すべての調査点で付着確認。

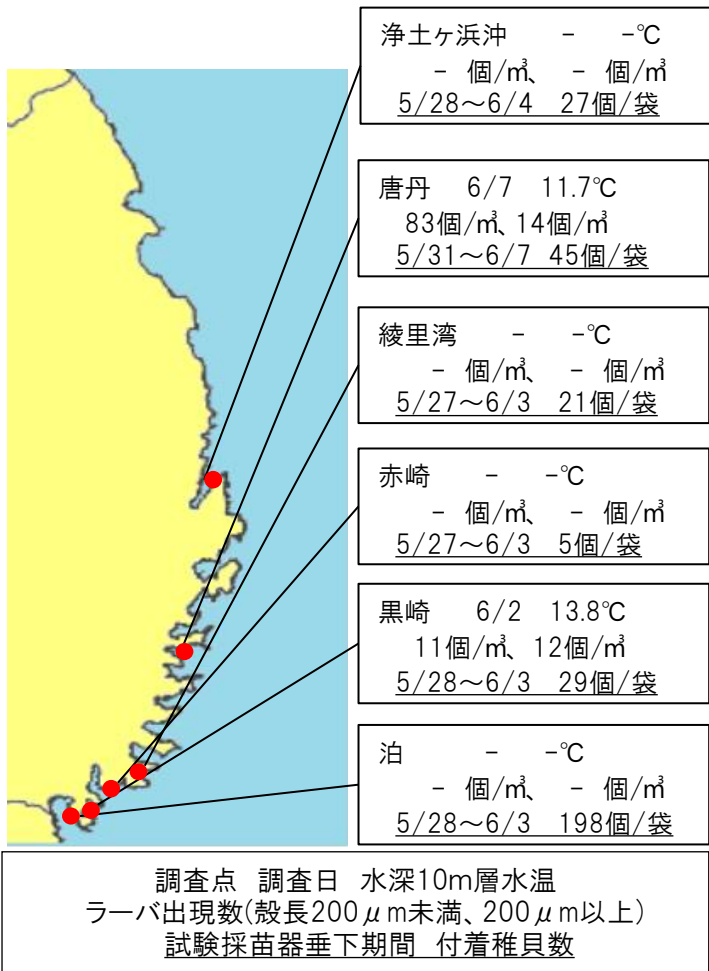


図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月15日頃に
 発行する予定です。

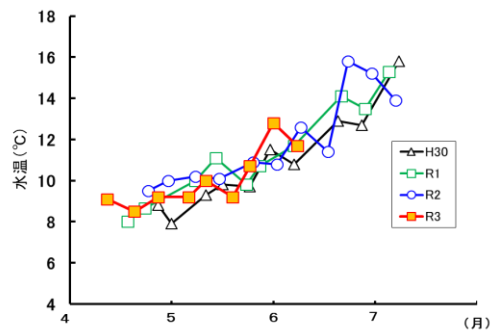


図2 唐丹湾における水深10m水温

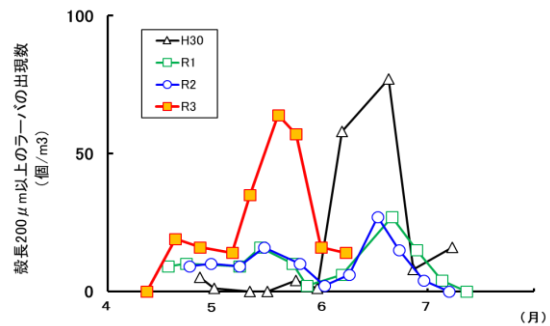


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

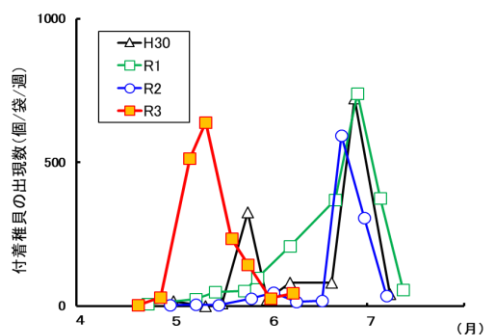


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数